

つるた町民ライブラリー

このコーナーでは、「ヒト・モノ・コト」を繋げるため、私（地域おこし協力隊：川口）が、鶴田町で活動する「人材＝人財」（個人・企業・団体）をピックアップして「よそ者」目線で人物像を掘り下げ、不定期でご紹介します！

『弁当の配達だけではない、その先にあるもの』

VOL.1

まごころ弁当 三浦 拓磨さん

今回は、昨年10月から「まごころ弁当」事業を町内で始めた三浦拓磨さんです。まごころ弁当は、栄養や減塩等の健康面に配慮したお弁当を配達する事業です。地域の高齢化を見据え、起業した三浦さんの地域に対する想いをお届けします。

◆事業・サービスのポイントを教えてください。

まごころ弁当は完全配達サービスで、高齢のお客様には配達時の安否確認サービスを無料提供しています。また、福祉分野との連携も重要と考え、サービスが必要な方と当社をつないでいただくという部分で福祉事業者さまと情報を交換しています。例えば、社会福祉協議会の関係者さまや居宅介護施設のケアマネージャーさまです。

お客さまの中には、まだまだ元気でも、買い物や食事の準備が少しずつ生活の負担に感じ始めたという方もいます。配達と同時に安否確認もできるという点では、地域の見守り隊のような立ち位置で地域に貢献できるかなと思っています

◆お弁当の内容について教えてください。

まごころ弁当は栄養士監修のもと、安心安全なお弁当づくりをモットーにしています。青森県は全国と比較して短命県ですが、まごころ弁当は減塩と出汁活にも配慮しています。要は、気づかずに入りすぎている塩の味で食べるのではなく、出汁の味でおいしく健康に食べてもらうということです。

メニュー表はありますが、お客さまが選ぶという形ではなく、毎日、今日は何が来るのかなと楽しんでもらえるように工夫した内容となっています。



◆この仕事を選んだきっかけを教えてください。

地域貢献にもつながる仕事を考えていた中、インターネットでお弁当の配食サービスというフランチャイズ事業を見つけました。この事業に確信を持てるか不安でしたが、研修を受けて、この事業なら販売と地域貢献を両立できるかもしれないと思いました。お客さまの個別事情や身体的ハンデなどへの細



かな配慮は必要ですが、リスクとはとらえずに向き合うことを心がけています。

味付けが合わない方、自分で調理する大切さを再確認する方、まだ必要ではなかったという方もいます。それでも、いつかこの先お役に立てる可能性もあると思うので、まずはサービス自体を知ってもらえれば嬉しいですね。



◆最後に、今後の展望を教えてください。

配達をして感じたことは、高齢者のちょっとした困りごとの解決、例えば雪片付けなどのお手伝いの仕組みづくりの必要性です。建設業者さんやシルバー人材センターさんもありますが、その辺は福祉関係の方にも相談しています。商売として軌道に乗ることが当面の目標ですが、将来的には、弁当配達事業を通じて地域と福祉の架け橋のような存在になればたらよいなと思っています。

編集後記

話してみると、とても気さくな方で親近感がわき、まさに「頼れる安心」を感じました。当初は居酒屋開業を考えたものの、最終的に今の事業にたどり着いたそう。最初は不安だったそうですが、配達の際にお客様の体調の異変に気付くなど、見守りネットワークの一端として、地域貢献できている実感があると仰っていました。

私もお弁当を食べてみましたが、美味しくヘルシーでお腹も満たされました！また、新たにワンコイン日替わり弁当も検討中とのことでこちら楽しみです♪



まごころ弁当 鶴田・五所川原店

～安心・安全・まごころ 高齢者向け配食サービス～

代表：三浦 拓磨

場所：鶴田町大字鶴田字沖津234 - 67

☎ 0173-22-6041

お問い合わせ対応時間 9:00～18:00

お気軽にお問い合わせください